

# 第1回水稲病害虫発生予察結果

## 4月下旬～5月上旬植えの早生品種（コシヒカリ、ひとめぼれ等）

### 【生育状況及び病害虫発生状況】

コシヒカリ等の早生品種は、1株の茎数が10～18本となっています。この茎数の平均が20本程度となったら中干しを行ってください。現在は1株の茎数を20本にするため、昼間は田んぼの水を止め水温を確保し、分茎本数増加に努めてください。

また、病害虫の発生は確認されませんでした。

### 【中干しについて】

中干しは、分茎本数が平均20本程度となったら、水を抜き、田の表面に軽くヒビが入る程度まで行ってください。その際の天気の状態により晴天時は2～3日程度、雨が続くときは1週間程度を目安に行ってください。

また晴天が続いている場合、中干しをやりすぎてしまうと田んぼに大きくヒビが入ってしまい根を切断し、生育が悪くなってしまうこともありますのでご注意ください。



中干しの目安

### 【雑草について】

コシヒカリ等の早生品種では、オモダカ、ホタルイなどの水田雑草の発生が確認されました。雑草を確認したら早めの除草剤散布を行ってください。

これからの除草剤として「**バサグラン粒剤**」があります。使用の際は、田んぼを落水状態(足跡に水が少し残る程度)にして散布を行ってください。また、散布後2～3日に田んぼに水を入れたり雨が降ってしまうと効果が低下しますので、**散布後3日間は雨の降らない日を狙って**散布してください。

薬剤名	使用時期	使用方法	使用量	使用回数
バサグラン粒剤	移植後15～55日 (ただし収穫60日前まで)	落水散布または ごく浅く湛水して散布	3～4kg/10a	1回

## 5月中旬～5月下旬田植えの晩生品種（きぬむすめ、あいちのかおり SBL 等）

### 【生育状況】

5月中下旬に田植えを行った中生・晩生品種の水田では、順調に分茎数が増えてきております。分茎数を確保するために昼間は水を止め、水温を確保するように努めてください。

今回の調査では病害虫の発生は確認されませんでした。雑草の発生が見られましたので、大きくなる前に雑草に対応した除草剤の散布を行ってください。